

保護者の皆様

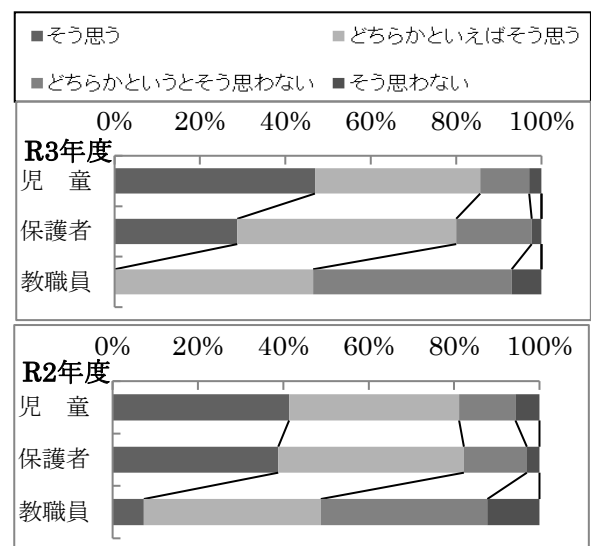
日進市立南小学校長 高橋 雅樹

学校評価アンケート結果について（お知らせ）

日頃は、本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。12月に児童・保護者・教職員を対象に「学校評価アンケート」、「いじめに関するアンケート」を行いました。回答数は児童488名（4～6年）、保護者358名、教職員43名でした。集計結果ならびに分析結果をお知らせします。グラフは上段が今年度、下段が昨年度の結果です。（無回答は集計から除いてあります。）この結果を、よりよい学校づくりの資料とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

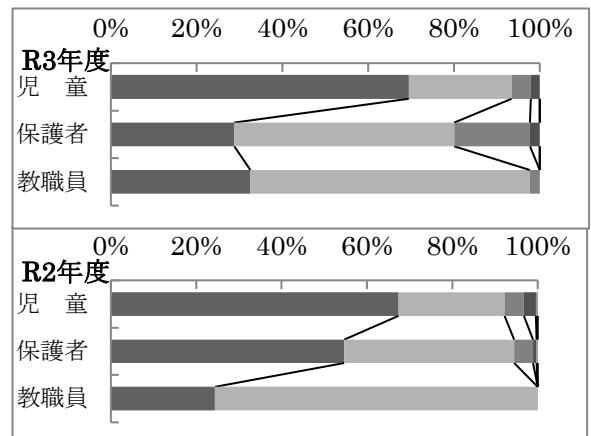
問1 友達や先生に進んで挨拶をしていますか。

昨年度と比べると児童の挨拶ができていると考える割合が増えています。これは児童会役員や総務委員の児童を中心に昇降口前で実施している「あいさつ強化週間」や廊下での挨拶運動など意欲的な活動が少しずつ定着してきたからだと考えられます。また、各地区の通学路で挨拶活動や見守り隊の方々の活躍も大きいと感じております。「あいさつは幸せの始まり」を合言葉に、「挨拶で笑顔の花咲く南っ子」を目指したいですね。



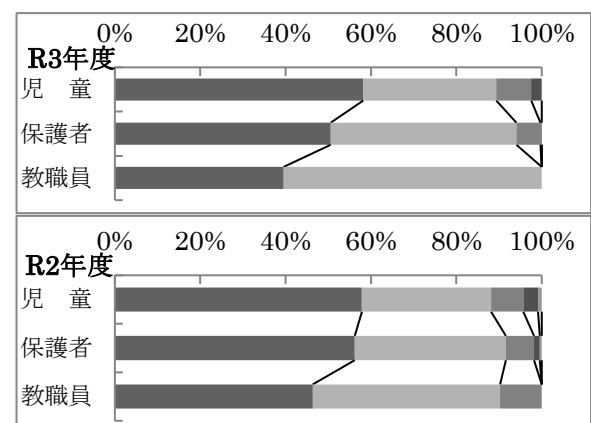
問2 学校で楽しく過ごしていますか。

児童・教職員は90%以上が肯定的な回答をしています。コロナ禍による制約はまだ続いているが学校での教育活動や休み時間に友達と思う存分楽しんでる児童が多かったようです。反対に保護者は肯定的な意見が減少しています。コロナ禍みより学校での子どもたちの様子をじっくり見て頂く機会が減っていることが影響しているのではないかと考えます。



問3 学校の行事に一生懸命に取り組んでいますか。

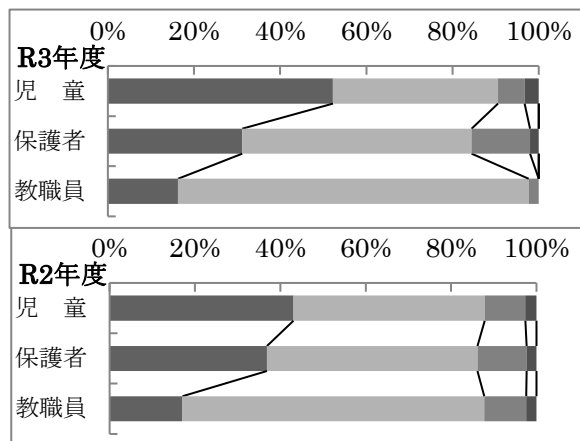
今年度も新型コロナウイルス感染予防対策を講じ活動内容を検討しながら千人規模の学校で今できる形を考えて実施してきました。児童・保護者・教職員とも90%以上が肯定的な回答をしています。制約に不満もあると思いますが、多くの児童がイベントや行事を楽しみにしているという結果が出ています。どのような状況におかれても一生懸命に取り組めるのは南っ子の良さだと思います。



問4 学習に一生懸命に取り組んでいますか。

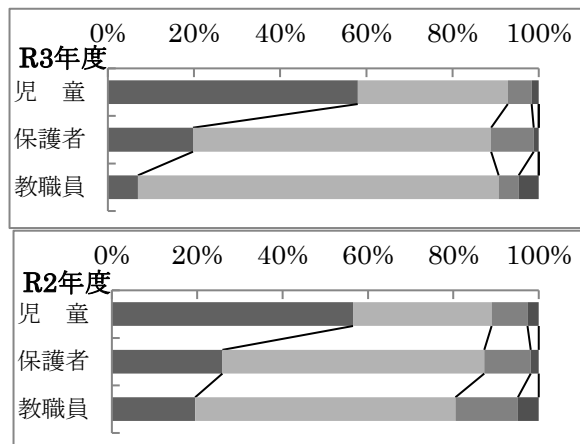
肯定的な回答をした児童・教職員は、9割を超えていて、学校では学習に意欲的に取り組んでいることがうかがわれます。しかし、保護者から見ると少し意識が下がっているように感じられているようです。コロナ禍によるステイホームで、ゲームやSNSに充てる時間が増しているからではないかと考えます。

学校でも家庭でも主体的に学習に取り組める意識をもたせていきたいと思います。



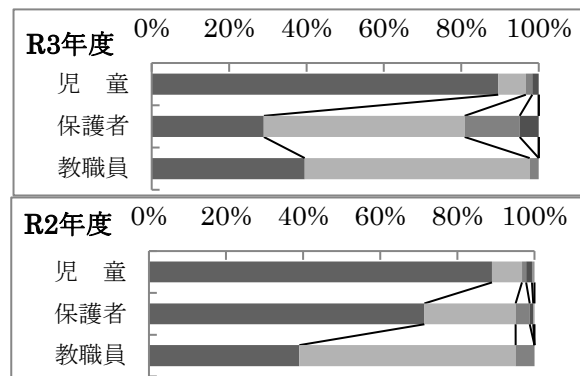
問5 学校の授業は分かりやすいですか。

教職員への質問は「分かりやすい授業をしていますか」です。全ての教職員が分かりやすい授業を目指し、年間一人1回以上の研究授業を実施し、その後、研究協議会を開いています。児童も保護者も教員も一昨年、昨年度よりもさらに肯定的な回答をしています。子どもたちにとって「授業が分かる」は「学校が楽しい」につながっていきます。これからも、より分かりやすい授業を目指していきたいと思っています。



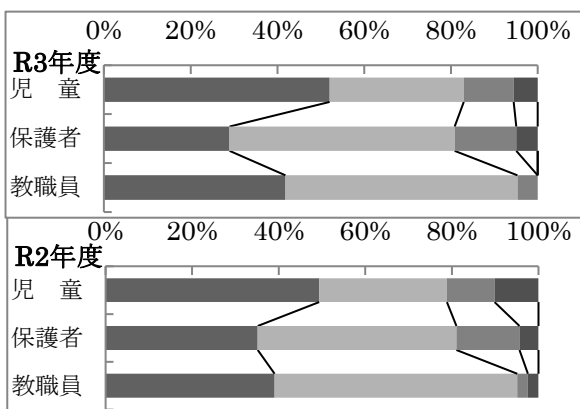
問6 学校に、遊んだり話したりする友達がいますか。

児童は95%以上が肯定的な回答をしています。肯定的な回答をした児童が16名いました。その中には休み時間に読書をしたり絵を描いたりすると落ち着く子もいますが、悩みを抱えている場合もあります。教職員は、学年・学級にかかわらず、校内のどの児童にも目を向け、学校や学級が安心でき落ち着ける場所となるよう努めています。



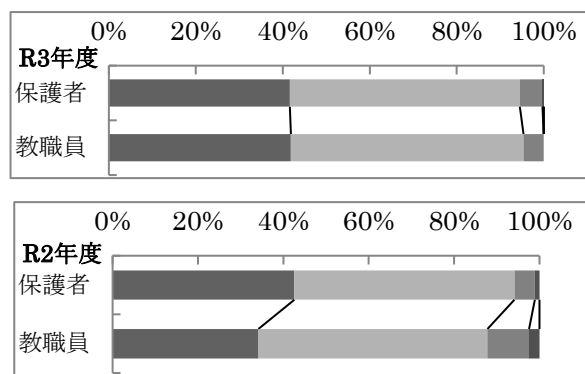
問7 困ったときに相談できる先生がいますか。

教職員への質問は「子どもが困ったときに相談できるように配慮している」です。児童・保護者・教職員のいずれも8割以上が肯定的な回答で、昨年度を上回っています。日頃の学級経営や教育相談等によって、教職員と児童の信頼関係が構築された結果だと思っています。しかし、否定的な回答もあるため、日常の観察をより丁寧に行い、児童の心に寄り添った指導をしていくように努めます。



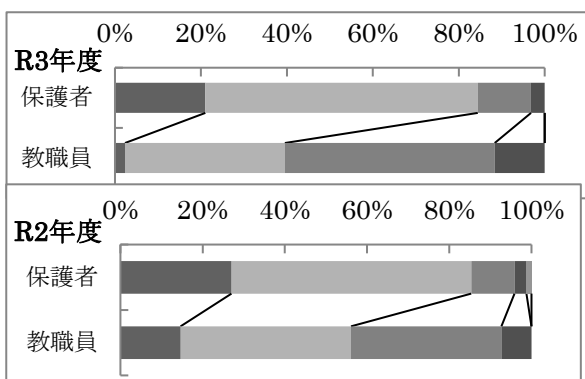
問8 学校は、子どもが安全な学校生活を過ごせるよう努めている。

保護者・教職員ともに昨年度を上回る約95%が肯定的な回答です。保健委員や6年生の呼び掛けなどにより、廊下や教室での事故・けがが激減し、救急搬送も随分減ってきました。また、緊急事態宣言発令時には、消毒ボランティアが活動したり教職員が感染対策を強化したりしています。こういった活動をホームページ等で周知しているので、安心して子どもを学校に通わせられる保護者が多いと考えます。



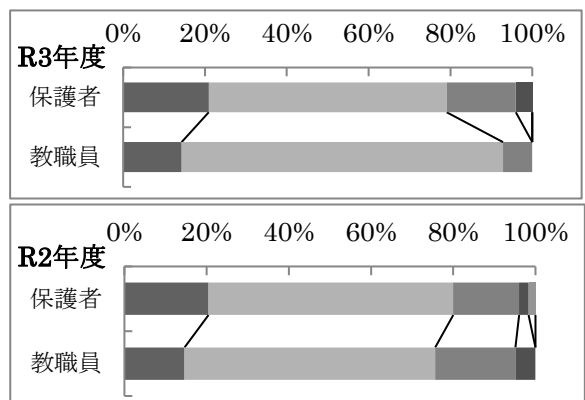
問9 施設・設備は子どもが生活しやすいように整備されている。

児童数が増え続けている関係で、特別教室などの使用が制限されたり、トイレの数が不足していたりして子ども達には不便をかけています。これらのことがアンケート結果に反映されていると思います。次年度更に児童数が増え、3学級増の予定です。現在、パソコン教室を2つの通常学級にする改修工事を行っています。今後も施設・設備面の改善に向けて、継続して市当局にも働き掛けていきます。



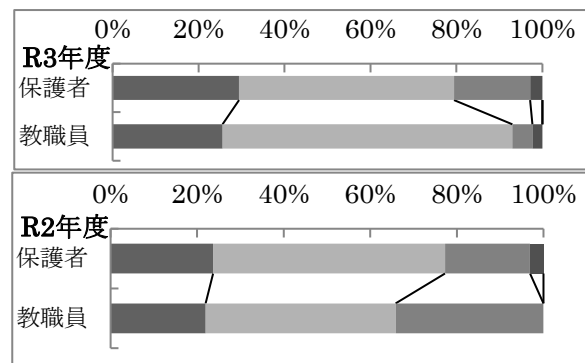
問10 学校は、教育方針や経営方針を分かりやすく伝えている。

保護者は約8割、教職員は9割以上が肯定的な回答です。今年度よりペーパーレス化を促進し、ホームページ（HP）を一段と充実させたことが、教職員回答の肯定割合上昇につながっていると思います。HPの学校紹介・入学説明会要項に教育方針・経営方針の概要が記載されており、毎日のように更新する校長ブログで学校の考えや方針を示しています。全ての保護者が閲覧を楽しみにするようなHPを目指していきます。



問11 各種便りで子どもの様子がよく伝わるように工夫している。

そう思うと回答した保護者が、さらに増えました。これは問10と同様に、ホームページの充実など、情報発信の方法を工夫した成果だと考えます。また、今まで紙で配付していたものをHPの「学校からのお便り」でお知らせすることで、ペーパーレスにもつながっています。今後も、学校HPに学校の様子をタイムリーにアップしていきますので、ぜひご覧ください。



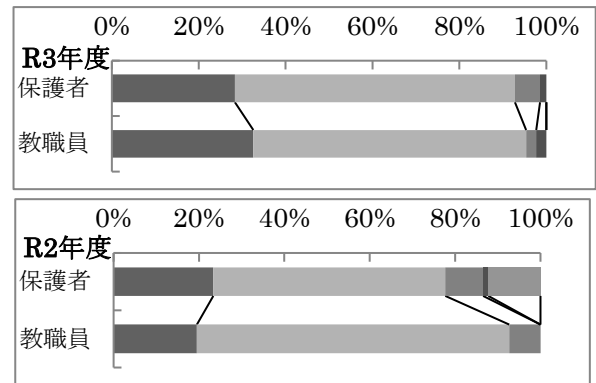
http://saas01.netcommons.net/nisshin/htdocs/?page_id=100

※ 日進市ホームページ下の「リンク集」からも探せます。

【以下はいじめに関する質問項目です。】

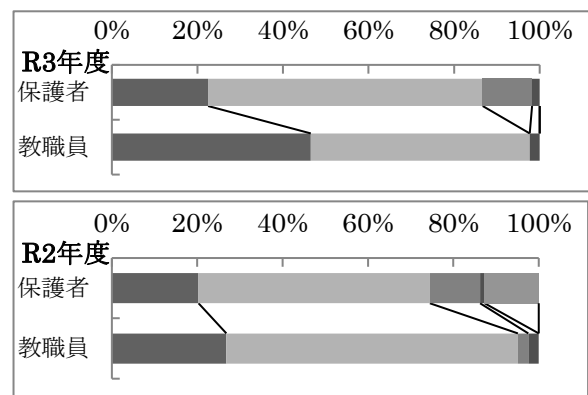
問 12 異学年交流活動、大縄大会、挨拶など、子ども同士の関わりを大切にし、いじめのない温かな学校づくりに努めている。

保護者・教職員ともに肯定的な回答割合が昨年度を上回っています。コロナ禍の中でも、児童の安全・安心を最優先に考えながら、子ども同士が関わる活動を工夫して行ってきた結果だと考えます。昨年度から、コロナ禍における様々な行事の在り方を、教職員と児童と一緒に考えてきました。今後も、安心・安全と「学び」を両立させながら、いじめのない温かな学校づくりに努めていきたいと考えています。



問 13 子どものよさや頑張りをほめ、楽しく分かりやすい授業づくりに努めている。

保護者・教職員ともに肯定的な回答割合が昨年度を上回っています。教職員の「そう思う」が大幅に上昇したのは、「授業は教師の命」を合言葉にして、授業研究に力を入れた結果だと思います。保護者の肯定割合の大幅な上昇は、校長ブログ等で授業研究に関する本校の取組が理解されてきたことの表れだと思います。今後も、学校生活で最も長い時間を占める授業で、子どもたちの自己肯定感を高めたいと考えています。



問 14 いじめに関する子どもや保護者の相談や悩みにに対し、適切に対応している。

担任は教育相談等で、コロナ禍で不安定な子どもたちの心に寄り添いながら、いじめの未然防止・早期発見に努めています。また、担任や教頭が保護者からの相談に真摯に耳を傾けてきました。その結果が、教職員の「そう思う」と保護者の肯定割合の大幅上昇につながったと思います。今後も、子ども、保護者、地域の方々からの相談や悩みに対して誠実に対応していきたいと考えています。

